

PORTS

OF

OSAKA

PREFECTURE

大阪府の



みな

と 2011年7月
No.98

TOPICS

- 大阪湾ポートオーソリティを目指して 1
- 大阪府港湾局における地震・津波対策 2
- 国際コンテナ貨物拡大助成事業補助金申請随時受付中 4
- 「第8回共生の森植樹祭」が開催されました 5

EVENT

- 海の月間実施計画決まる 6
- 「第51回親と子の写生会」で大阪府港湾協会賞贈呈 6
- 泉大津フェスタ2011(第1部)が開催されました 7
- 第1回堺泉北港ドラゴンポート大会開催 7

PORT NEWS

- 平成22年 大阪府営港湾の港勢(堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港) ... 8
- 大阪府営港湾ポートセミナー開催 11
- 大阪府営港湾国際経済セミナー開催 11
- 大阪府営港湾新人研修会実施 12
- ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～ 12

INFORMATION

- 運営委員会 13

TOPICS

大阪湾ポートオーソリティを目指して 1
大阪府港湾局における地震・津波対策 2
国際コンテナ貨物拡大助成事業補助金申請随時受付中 4
「第8回共生の森植樹祭」が開催されました 5

EVENT

海の月間実施計画決まる 6
「第51回親と子の写生会」で大阪府港湾協会賞贈呈 6
泉大津フェスタ2011(第1部)が開催されました 7
第1回堺泉北港ドラゴンボート大会開催 7

PORT NEWS

平成22年 大阪府営港湾の港勢(堺泉北・阪南・深田・尾崎・泉州・泉佐野港) ... 8
大阪府営港湾ポートセミナー開催 11
大阪府営港湾国際経済セミナー開催 11
大阪府営港湾新人研修会実施 12
ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～ 12

INFORMATION

運営委員会 13

大阪湾ポートオーソリティを目指して

大阪府港湾局長 井上 博睦



成長著しいアジアの主要港に対して、日本の港湾の相対的地位低下が叫ばれて久しい。とりわけ、日本に寄港する基幹航路の減少、日本発着貨物の海外トランシップ率の上昇は、我が国の産業にとっても大きな問題である。

四方を海に囲まれた我が国にとって、産業の国際競争力、安定した国民生活を支える観点から、港湾の機能強化は喫緊の課題であり、これまでも、スーパー中枢港湾など様々な施策が展開されてきたが、国際物流の状況は厳しさを増している。

大阪湾に目を転じると、日本を代表するコンテナ取扱港である神戸港、大阪港、近畿のエネルギー基地としての役割を果たす堺泉北港、重要港湾の阪南港、尼崎西宮芦屋港など、近畿の産業・経済を支えてきた諸港がひしめき、港湾振興にしのぎを削っている。

国際的にみると、大阪湾は一つの港湾の規模であり、その国際競争力を強化するためには、それぞれの港湾が競うのではなく、一元的な管理のもと、より効率的な運営や投資が図られるべきであろう。

これまでも、一開港化、入港料の低減、手続きの簡素化、共通化など、様々な取り組みが行われてきたが、最終的には「大阪湾ポートオーソリティ」を目指し、大阪湾諸港が一つの港のように機能し、利用されることが必要である。

昨年8月、京浜港とともに阪神港が国際コンテナ戦略港湾に選定された。戦略的な港湾経営を目指し、神戸港、大阪港の埠頭会社が民営化され、2015年には経営統合されることとなった。湾内港湾の一元管理・運営に向けた大きな一歩である。

大阪府においては、阪神港、ひいては大阪湾の機能強化のため、第一歩として、堺泉北港に就航しているRORO船をはじめとする内航定期航路網の充実・強化による、九州・瀬戸内からの集荷機能の強化、泉大津フェニックス、阪南2区において、物流機能用地や産業用地の確保、企業誘致を図っているところ。

今後、堺泉北港のコンテナふ頭である助松8、9号岸壁、来年度に供用予定のフェニックス地区の水深11m岸壁の運用はもとより、さらなる大阪湾の港湾機能の強化に向け、府営港湾の特徴である鉄鋼、中古車、合板といったコンテナ以外の貨物も含め、大阪湾における府営港湾の役割を整理しつつ、機能強化に努めていきたい。

大阪湾ポートオーソリティの具体像や設立に向けたプロセスについて、港湾管理者間で確立された共通認識はまだないが、大阪府として、今回の港湾法の改正を受け、港湾経営の民営化に的確に対応するとともに、湾内港湾の一元管理・運営に向け、港湾管理者をはじめとする関係者と一層の連携強化に努めていきたい。



大阪府港湾局における地震・津波対策

東北地方太平洋沖地震の発生

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、死者・行方不明者は、2万3千人余りという未曾有の大惨事となりました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。今後、この震災を踏まえた防災対策の見直しを行うこととしていますが、今回は現在の大阪府港湾局における地震・津波対策について認識して頂き、地震発生後の速やかな避難行動に役立ててほしいと思います。

発生が懸念される東南海・南海地震

近い将来、その発生が懸念されている東南海・南海地震による被害は、国の中央防災会議に基づく大阪府・大阪市・和歌山県の3者合同による津波対策検討委員会の結果及び大阪府第2次地震被害想定調査の結果から次のとおり想定されています。臨海部では、震度5弱から6強の揺れの後、大阪湾沿岸に津波が来襲します。第1波は地震発生後、岬町に60分で到達し、大阪市には120分で到達します。また、津波の高さは、岬町で1m前後、大阪市で3mほどに達します。震源から遠く離れる大阪市の方が高くなるのは、大阪湾の北部で津波が収斂するためです。

地震・津波対策

大阪府では、東南海・南海地震による津波対策の基本方針として、2つの戦略的目標を立てています。第一の目標は、「津波による人的被害(死者)をゼロ」にすることです。大阪府に襲ってくる津波の到達時間は、一番早い岬町で地震発生後約60分、堺市では地震発生後約100分です。その時間を有効に使い水門・樋門・門扉を閉め、速やかに避難行動を開始すれば「ゼロ」にすることは可能です。第二の目標は、「広域災害からの迅速な復旧」を果たすことです。大阪府は、海外からの輸入物資への依存率が非常に高い府県の一つです。臨海部の物流が麻痺すると、経済復旧が非常に立ち遅れることになります。大阪は東京とともに日本の中核です。近い将来発生する東南海・南海地震による津波は、避けられませんが、その被害からの迅速な経済復旧の必要性は、わが国全体の問題です。

このように東南海・南海地震が発生した場合の津波による被害想定を行い、2大目標を設定し、対策をまとめたものが「大阪府津波対策大綱(H17年3月策定)」です。これを受け、港湾局では、津波被害を防ぐハード対策及び津波から迅速に避難するソフト対策を2本柱として以下の防災対策を展開しています。

【津波を防ぐハード対策】

1) 水門・樋門・門扉の確実な閉操作

津波警報発令時に閉めなければならない大阪府港湾局が所管する水門・樋門・門扉は、112箇所あります。沿岸市町と連携し、津波来襲までに閉め切る人的体制を整えています。

2) 防潮堤嵩上げ工事

一部の防潮堤で最大津波水位と天端高さを比較した場合、天端高さが不足しているところが2.8km(H19年2月時点)ありましたが、嵩上げ工事を進め、現在、2.6kmが完成しています。(平成23年度未完了予定)

3) 耐震補強工事

平成18年度に防潮堤等の海岸保全施設の耐震点検及び診断を行い、耐震性が不足している箇所を抽出したところ、4か所の排水機場の建屋と7基の門扉の耐震性が不足していましたが、現在、4か所の排水機場と3基の門扉の耐震対策が完成しています。(平成25年度未完了予定)

4) 水門等機能高度化

高度化の方法としては、遠隔操作化、遠隔監視化、自重降下化が挙げられます。操作員が被災してしまって、閉操作に行けないかもしれません。その時、ボタン一つで閉鎖できるシステム、それが遠隔操作化です。また、水門・樋門・門扉の開閉状態を港湾局及び市町のパソコン画面上で確認できるようにするシステム、それが遠隔監視化です。閉鎖できない箇所については、操作員の応援体制を組み、閉め切るようにします。さらに、水門等の扉体を自らの重さで落下させることにより閉門します。より早く閉門できるようにするシステム、それが自重降下化です。

5) 防災情報スピーカーの設置

海水浴場、埠頭、漁港等の防潮堤の海側にいる不特定多数の人々へ津波注意報・警報が発令されていることを迅速に周知し、速やかに避難してもらうために設置しています。(66箇所設置済み)

6) 門扉等常時閉鎖の促進

現在、津波警報発令時には、112箇所の施設操作を行っています。1箇所でも2箇所でも、常時閉鎖できないか調査を行っています。津波来襲までの限られた時間の操作数は少ないほど有利です。

【津波から逃げるソフト対策】

7) 津波ハザードマップの作成支援

水門等の閉鎖操作ができなかった場合のことを想定し、住民が適切に避難できるような避難場所、避難経路など避難に必要な情報を掲載し、また、裏面には、東南海南海地震に関する知識や地震対策の心得などを掲載した津波ハザードマップを市町が作成しました。港湾局では、マップ作成に必要な浸水想定図の提供などハザードマップの作成支援を行いました。(H18年11月までに作成・配布済み)

8) 防災訓練の実施

沿岸市町、所轄警察等の防災関係機関と一体となって、水門等の閉鎖訓練を毎年9月1日及び1月17日前後に行い、いざという時に適切に対応できるよう訓練を行っています。

9) 津波啓発看板の設置

防潮堤等に津波啓発看板を設置し、常日頃よりこの場所が、浸水想定区域に入っていることを周知し、いざという時に速やかな避難行動に移ってもらうようにしています。(122枚設置済み)

10) 船舶津波対応要領の作成

堺泉北港及び阪南港には、オイルタンカーやLNG船等のエネルギー船、さらには、コンテナ船、PCC船、旅客船などが多数出入港しています。同要領では、それらの船舶が津波からのリスクを回避するためには、どういったことが必要かについてまとめています。緊急情報の入手方法、港外退避する場合の避難経路、水深20m以上で津波による流速が1ノット未満の安全水域の情報等です。

今後の取り組み

今後、国の中央防災会議による東北地方太平洋沖地震の検証が進み、東南海・南海地震についても新たな見解が示され、その検証結果を踏まえた精緻な被害想定及び前述の津波対策の見直しが必要になってきます。しかし、それには一定の時間を要します。一方、地震はいつ発生するのかわかりませんので、出来ることから新たな防災対策を進めていこうとしています。具体的には、津波対策の課題を抽出し避難場所の見直しであるとか避難対策を中心にアウトプットすることを考えています。

「想定外のことが起きてしまった。」などと言うことのない様、官民一体となったハード・ソフトの着実な防災対策を推進していきたいと考えています。今後も大阪府の地震・津波対策へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

施設操作訓練



岸和田NO.1-2門扉



市民会館横 門扉(泉大津市)



岸和田水門

津波啓発看板



堺旧港



泉大津旧港

国際コンテナ貨物拡大助成事業補助金申請随時受付中

堺泉北港港湾振興連絡協議会

堺泉北港港湾振興連絡協議会では、国際コンテナ貨物拡大助成事業補助金の申請を受付けております。

この事業は、今年度から新規に実施している補助制度で、堺泉北港内航フィーダーコンテナ航路、もしくはコンテナ航路を新規で利用する国際コンテナ貨物の荷主に対して補助するものです。

補助事業の概要は下記のとおりです。

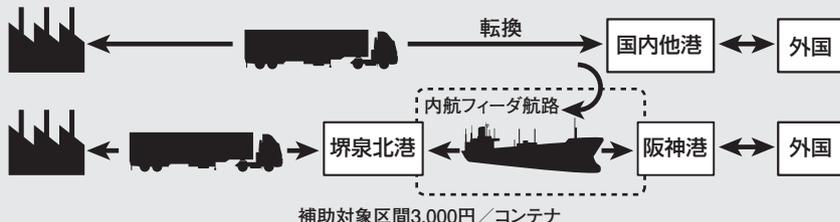
国際コンテナ貨物拡大助成事業

■補助金＝  コンテナ 1本／3,000円 但し、補助の合計が100万円を超えるときは100万円を上限とする

■補助金の対象となる事業

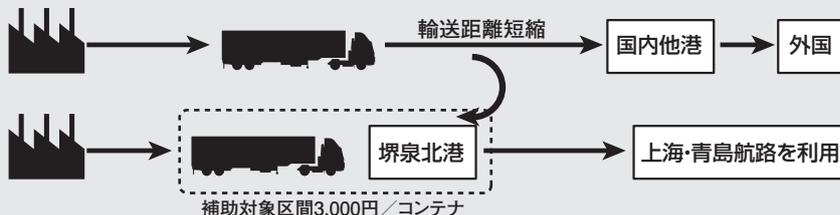
①海上モーダルシフト(陸上輸送から海上輸送への転換)

コンテナ貨物の国際海上輸送にあたって、堺泉北港に寄港する内航フィーダー航路を利用する海上輸送事業



②陸上輸送距離短縮(利用港を国内他港から堺泉北港に変更)

国際海上輸送(輸出)に供するコンテナ貨物の陸上輸送において、堺泉北港に寄港する外航コンテナ航路を利用することによって陸上輸送距離を短縮しようとする事業



■補助事業の仕組み

- 補助対象事業者 = 法人たる荷主企業(他者から依頼を受けてコンテナ貨物を輸送することを業とする者は除く)
- 補助対象期間 = 毎年4月1日以降で、事業開始日から翌年2月28日まで
- 交付の決定 = 協議会が申請内容を審査(予算の範囲内で事業計画書のコンテナ個数の多いものから順に決定)
- 補助事業者 = 毎月、[船荷証券]など堺泉北港での揚げ積みを確認できる書類を添付、翌月10日までに報告
- 補助申請受付期間 = 平成24年1月31日まで

補助金、申請手続き等の詳細は…

堺泉北港港湾振興連絡協議会事務局(大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ内) 担当者 栗山、前田、永江 まで
TEL.0725-21-7203 WEB:<http://www.osakaprefports.jp/>

堺泉北港⇄神戸港内航コンテナフィーダー航路の運航スケジュールや料金の詳細は…

オー・オー・シー・エル(ジャパン)株式会社 西日本支店 セールス&マーケティング部
TEL.06-6266-0381 WEB:<http://www.oocl.com/japan/jpn/>

堺泉北港→(輸出)上海・青島コンテナ航路の運航スケジュールや料金の詳細は…

山九株式会社泉北支店 業務グループ 船舶代理店係
TEL.0725-22-9039 WEB:<http://www.sankyu.co.jp/index.html>

「第8回共生の森植樹祭」が開催されました

大阪府港湾局計画調整課計画グループ

大阪府では、港湾局と環境農林水産部みどり・都市環境室、循環型社会推進室が一体となって、堺泉北港堺第7-3区において森づくりを進めています。

堺第7-3区は、280haの面積を有する産業廃棄物埋立処分地であり、そのうち100haの区画を「共生の森」と名付け、大阪府をはじめとする行政機関や府民の方、企業、NPO法人などが力を合わせ、これまでに多くの苗木を植えてきました。

平成23年2月27日(日)には、通算8回目となる「共生の森植樹祭」が開催されました。この日は天候もよく、春を思わせる陽気の中、484名もの参加者が、バスや自家用車に分乗して集まりました。

参加者全員で準備体操を行った後は、班ごとに分かれて土づくりから開始です。各班のリーダーの説明に従い、掘り起こした土に土壌改良材を混ぜ合わせ、そこに1本1本丁寧に苗木を植えていきました。場所によっては、土が固く作業が難航しましたが、小さな子供から年配の方まで、みんなで協力しながら植樹を進めました。

一通り植え終わったところで昼休みとなり、ここで炊き出しのうどんが協力企業から振る舞われました。このうどんは、今や植樹祭名物で、これを楽しみに参加する人もいます。

活動再開後は、マルチングに取りかかり、苗木がすくすくと育つよう、その周囲をウッドチップで埋めつくしました。こうしてようやく、エノキやクヌギなど21種類、918本の苗木を、4,800㎡の区画に植えることができ、全員で記念写真撮影。その後、心地よい疲労を感じながら、後片付けを行いました。

植えたばかりの苗木の大きな脅威となるのが、周囲の草です。マルチングにより、草の侵入はある程度防げるものの、その勢いは凄まじく、夏には苗木が草に覆われてしまい、生育が妨げられます。このため、大阪府では、府民の方や企業、NPO法人などの協働により、毎年7月下旬に草刈り活動を行っています。真夏の草刈りは、大いに体力を消耗する作業ではありますが、毎年参加される方もおり、充実感もまた格別です。

来年の2月には、第9回の植樹祭が開催される予定です。20世紀の負の遺産である産廃埋立地を、一步一步緑に変えていく活動に興味のある方は、ぜひご参加ください。



EVENT...

イ

ベ

ン

ト

海の月間実施計画決まる

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ



海の恩恵に感謝するとともに海洋国日本の繁栄を願う日として、平成8年から「海の日」が祝日となり、平成13年6月の「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律」の成立により、平成15年から「海の日」は7月の第3月曜日となり、三連休化されました。

これを契機として、国土交通省をはじめとした政府関係機関で構成する「海の日」広報推進連絡会議において、7月を「海の月間」と定め、国民各層に「海の日」の意義を広めるなど、海事思想の普及のための活動を実施しています。

この期間を中心に、全国各地で各種行事が実施されますが、ここにご紹介するのは、大阪府営港湾周辺で開催される、当日参加が可能なイベントです。海の月間の趣旨をご理解いただき、皆様お誘い併せの上、是非ご参加ください。

| イベント名 | 実施日時 | 実施場所 | 問合せ先 |
|---------------------|-------------------|----------------------|------------------------------|
| 泉大津フェスタ第2部(Eボート大会) | 7月17日(日) ※実施済 | きららタウン前海域 | 泉大津フェスタ運営連絡会 0725-33-1131 |
| 岸和田ドラゴンボートレース(観覧のみ) | 7月18日(月) ※実施済 | 岸和田カンカンバイサイドモールマリーナ沖 | 岸和田ドラゴンボート協会事務局 072-438-0566 |
| 岸和田港まつり花火大会 | 7月30日(土) ※荒天中止 | 阪南1区岸壁 | 岸和田港振興協会 072-423-9618 |
| 第48回中学生「海の絵画コンクール」 | 7月27日(水)～9月25日(日) | なにわの海の時空館 | (社)近畿海事広報協会 06-6573-6387 |
| 第33回「海の写真コンクール」 | 7月27日(水)～9月25日(日) | なにわの海の時空館 | (社)近畿海事広報協会 06-6573-6387 |

「第51回親と子の写生会」で大阪府港湾協会賞贈呈 大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

平成23年5月14日(土)泉大津市内の幼稚園から中学校の先生で構成された、泉大津美育研究会及び泉大津市文化連盟主催のもと、「第51回親と子の写生会～わたしたちのまち泉大津の港をかこう!～」が開催されました。

当日は、天気にも恵まれ、たくさんの親子が参加されました。参加者は、思い思いに泉大津の港を写生し、258点もの作品が集まり、その数多くの作品から24点が特別賞として選ばれました。

受賞された作品はどれも表現力がとても豊かで、心を打たれるような作品ばかりでした。

また、5月27日(金)～6月1日(水)の期間、泉大津CITYアルザアトリウム2階において展覧会が開催され、特別賞受賞作品をはじめ、参加者の作品が展示されました。

大阪府港湾協会賞としては、旭小学校5年生 本間結女さんの作品が選ばれ、賞状とトロフィーが贈呈されました。



泉大津フェスタ2011(第1部)が開催されました

泉大津港湾振興会

関西国際空港の開港により誕生した、泉大津市なぎさ町の「きららタウン泉大津」を“人と人のふれあいの場”として広く市民にPRするとともに、各種機関、市民団体による手づくりイベントを通じ交流を図るため、今年も『泉大津フェスタ2011(第1部)』が5月22日(日)に開催され、本振興会も協力いたしました。

当日は、曇り空での開始となり、今にも雨が降りそうな天気、昨年同様天候が悪く、主催者にとっては“今年もまたか”という重い気分ですスタートしました。

オープニングセレモニー終了後、雨が降り出し、プログラムの一部を縮小・中止を行いました。模擬店や展示コーナーは予定どおり行なわれました。

模擬店は30団体が参加し、各種ゲームや飲食などで約7,000人のお客様でにぎわっておりました。展示コーナーでは、子どもに人気がある消防車やパトカーを展示していましたが、途中の大雨の影響で中止となりました。

また、海上イベントとして、堺海上保安署の協力を得て、船舶火災等に活躍している巡視船「かいりゅう」による放水展示が行われる予定でしたが、風雨が強くなってきたため、残念ながら中止となりました。

本振興会は今後も、各団体と連携をして、市民が海や港に親しむ機会をつくり、海への理解を一層深めていただくとともに、堺泉北港の振興を通じて各企業の発展に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。



第1回堺泉北港ドラゴンボート大会開催

高石港湾振興会

平成23年6月19日(日)、大阪府立漕艇センターにおきまして、高石商工会議所主催の第1回堺泉北港ドラゴンボート大会を開催しました。本大会は、過去3回「高石ドラゴンボート大会」として開催しましたが、今回は堺商工会議所、泉大津商工会議所並びに堺市、泉大津市と広域連携し、大会の規模を拡大して開催しました。また、市民と商工業者との絆を強めるため、初めてとなる地場産業物産展も同時に開催し、紹介コーナーにて泉北地域の名産品等を来場者に紹介しました。

本大会は、2012年韓国・釜山で開催予定の第10回アジア選手権大会の第一次選考会を兼ねた大会となり、その出場を目的として日本各地から強豪チームが集まり、午前8時から開会式、入魂式を行った後、市内チームを対象とした250m競技が行われ、浜寺運河に太鼓と掛け声が鳴り響きました。その後、直線が長く、穏やかな波が特徴の浜寺水路を十分に活かした500m競技の「オープン、男女混合、女子」を行い、最終レースのオープン500m競技では兵庫県相生市から出場した「磯風漕友会」が2位以下を断突に引き離してゴールしました。

表彰式では優勝から3位のチームに賞状とトロフィーが贈呈され大会を終了しました。

大会結果

- ◆オープン250m決勝の順位 (タイム)
 - 優勝 ドリーマーズ(大阪) (1:14.10)
 - 準優勝 三井化学㈱大阪工場(大阪) (1:24.36)
 - 3位 羽衣地車奉賛会(大阪) (1:26.80)
- ◆オープン500m決勝の順位 (タイム)
 - 優勝 磯風漕友会(兵庫) (2:02.64)
 - 準優勝 関西龍舟 男山(兵庫) (2:10.19)
 - 3位 熊野水軍(和歌山) (2:17.18)
- ◆男女混合500m決勝の順位 (タイム)
 - 優勝 Torrid Storm(東京) (2:12.06)
 - 準優勝 東海龍舟(愛知) (2:12.86)
 - 3位 関西龍舟 シンバ(兵庫) (2:14.16)
- ◆女子500m決勝の順位 (ポイント制にて判定)
 - 優勝 MUKOGAWA KAYAK CRAZY(兵庫)
 - 準優勝 関西龍舟 華組(兵庫)
 - 3位 TEAM 河童(大阪)



平成22年 大阪府営港湾の港勢 (堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港)

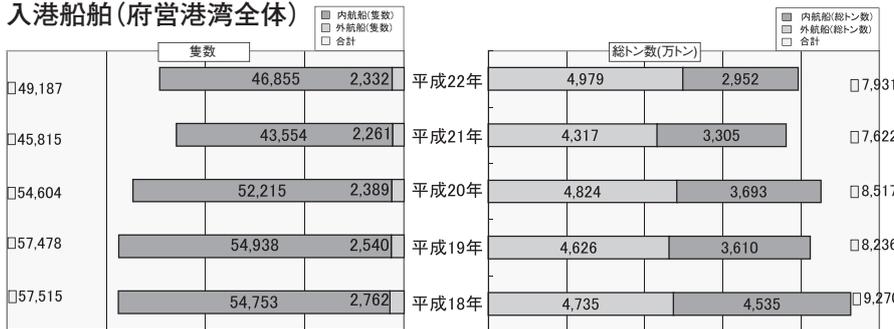
●府営港湾全体

大阪府が管理する8港のうち、港湾統計の対象である堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港の6港湾の港勢(平成22年1月～12月)をとりまとめました。

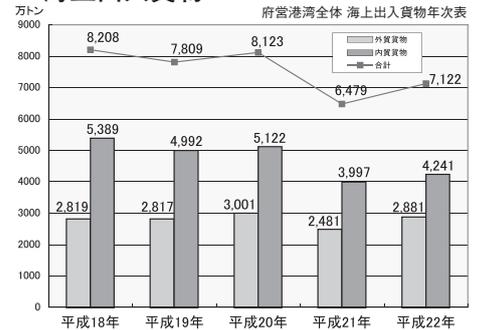
入港船舶数は、外航船が2,332隻、内航船が46,855隻で、合計49,187隻となっています。

取扱貨物量は、外貿が約2,881万トン、内貿が約4,241万トンで、合計約7,122万トンとなっています。

入港船舶(府営港湾全体)



海上出入貨物



●堺泉北港

◎全体

入港船舶数は、外航船が2,222隻、内航船が29,532隻で、合計31,754隻です。

取扱貨物量は外貿が約2,834万トン、内貿が約3,947万トンで、合計約6,781万トンです。

主要品種は、原油、完成自動車(フェリー含む)、LNG(液化天然ガス)、鋼材、石油製品となっています。

◎公共

主要品種は、外貿の輸出では完成自動車、金属くず、鋼材で、輸入が鋼材、木製品、製材です。内貿の移出では、完成自動車(フェリー含む)、その他輸送用車両、鋼材で、移入は、完成自動車(フェリー含む)、砂利・砂、鋼材です。

泉大津～新門司間のフェリーの乗降人員は乗込が約7万5千人、上陸が約8万3千人で、合計約15万9千人が利用しています。

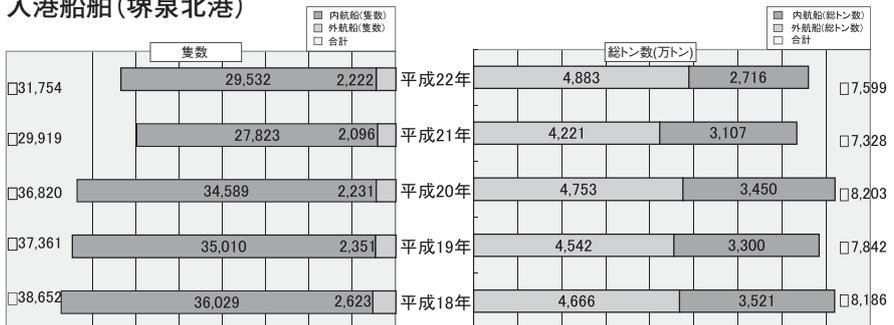
堺泉北港 取扱品種上位ランキング(外貿)

| 順位 | 輸 出 | | 輸 入 | |
|----|-------|----------|-------------|----------|
| | 品種名 | 貨物量(千トン) | 品種名 | 貨物量(千トン) |
| 1 | 石油製品 | 803 | 原油 | 12,427 |
| 2 | 完成自動車 | 709 | LNG(液化天然ガス) | 8,459 |
| 3 | 化学薬品 | 644 | 石油製品 | 1,483 |
| 4 | 金属くず | 252 | LPG(液化石油ガス) | 1,026 |
| 5 | 重油 | 146 | 鋼材 | 553 |

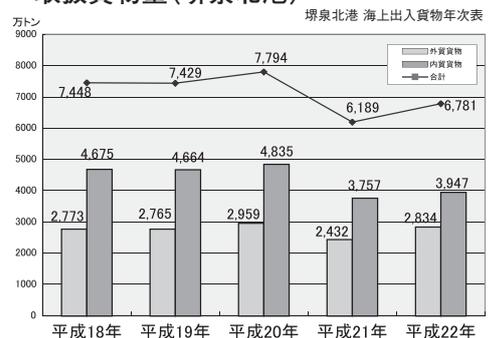
堺泉北港 取扱品種上位ランキング(内貿)

| 順位 | 移 出 | | 移 入 | |
|----|-------|----------|-------|----------|
| | 品種名 | 貨物量(千トン) | 品種名 | 貨物量(千トン) |
| 1 | 完成自動車 | 4,873 | 原油 | 5,941 |
| 2 | 重油 | 3,470 | 完成自動車 | 5,491 |
| 3 | 石油製品 | 3,023 | 鋼材 | 3,513 |
| 4 | 鋼材 | 2,561 | 砂利・砂 | 1,500 |
| 5 | 化学薬品 | 1,009 | セメント | 1,330 |

入港船舶(堺泉北港)



取扱貨物量(堺泉北港)



●阪南港

入港船舶数は、外航船が110隻、内航船が8,077隻で、合計8,187隻です。
 取扱貨物量は、外貿が約47万トン、内貿が約183万トンで、合計約230万トンです。
 主要品種は、外貿が木材チップ、原木、鋼材で、内貿が砂利・砂、石油製品、非金属鉱物です。

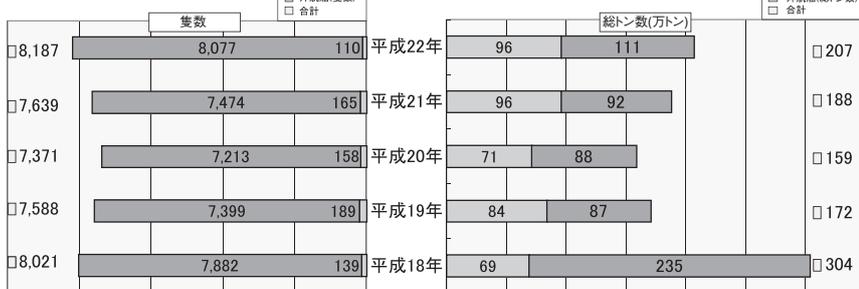
阪南港 取扱品種上位ランキング(外貿)

| 順位 | 輸 出 | | 輸 入 | |
|----|------|----------|-------|----------|
| | 品種名 | 貨物量(千トン) | 品種名 | 貨物量(千トン) |
| 1 | 金属くず | 8 | 木材チップ | 246 |
| 2 | 鉄鋼 | 6 | 原木 | 162 |
| 3 | 鋼材 | 6 | 鋼材 | 10 |

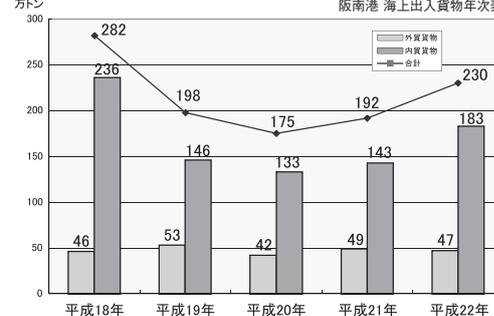
阪南港 取扱品種上位ランキング(内貿)

| 順位 | 移 出 | | 移 入 | |
|----|-------|----------|-------|----------|
| | 品種名 | 貨物量(千トン) | 品種名 | 貨物量(千トン) |
| 1 | 原木 | 24 | 砂利・砂 | 1,076 |
| 2 | 再利用資材 | 18 | 石油製品 | 199 |
| 3 | 砂利・砂 | 13 | 非金属鉱物 | 171 |

入港船舶(阪南港)



取扱貨物量(阪南港)



●深日港

入港船舶数は23隻、総トン数は約7,432トン、全て係留船でした。関西国際空港の二期工事の終了に伴い、利用船舶も減少しました。

●尾崎港・泉州港・泉佐野港

尾崎港

入港船舶数は3,217隻、総トン数は約2万6千トン、取扱貨物量は128トンで水産物を扱っています。

泉州港

入港船舶数は5,993隻、全て内航船です。客船がほとんどで、5,777隻と全体の96%を占めています。乗降人員は下表のとおりです。取扱貨物量は移入が111万トンで、航空機燃料である石油製品を扱っています。

泉州港 客船乗降人員(人)

| 航 路 | 平成21年 | | | 平成22年 | | |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 乗込 | 上陸 | 合 計 | 乗込 | 上陸 | 合 計 |
| 関空～神戸 | 140,199 | 145,596 | 285,795 | 198,172 | 205,642 | 403,814 |

※関空～洲本航路は平成19年4月より休航になりました。

●泉佐野港

平成10年から淡路島(津名)との間に就航していたフェリーは、平成19年2月より休航になりました。
 入港船舶数は13隻、総トン数は約5,554トン、全て係留船でした。

平成22年 大阪府営港湾の港勢(堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港)

●港別入港船舶及び海上出入貨物状況

| 港名 | | 入港船舶 | | 取扱貨物量 トン | 取扱貨物量の内訳 | | | | | |
|------|------------|-----------------|---------------------------|---------------------------|-------------------|------------------|-------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | | 隻数 | 総トン数 | | 外 貿 | | | 内 貿 | | |
| | | | | | 計 | 輸 出 | 輸 入 | 計 | 移 出 | 移 入 |
| | | 隻 | G/T | トン | トン | トン | トン | トン | トン | トン |
| 堺泉北港 | 全 体 | 31,754 (384) | 75,987,431 (5,360,267) | 67,809,456 (9,226,470) | 28,340,295 (-) | 2,902,573 (-) | 25,437,722 (-) | 39,469,161 (9,226,470) | 17,738,383 (4,639,810) | 21,730,778 (4,586,660) |
| | う ち 公 共 | 7,215 (384) | 22,783,361 (5,360,267) | 15,633,224 (9,226,470) | 2,566,740 (-) | 1,098,275 (-) | 1,468,465 (-) | 13,066,484 (9,226,470) | 5,993,674 (4,639,810) | 7,072,810 (4,586,660) |
| 阪南港 | 全 体 | 8,187 | 2,072,250 | 2,301,389 | 471,238 | 21,346 | 449,892 | 1,830,151 | 67,891 | 1,762,260 |
| | う ち 公 共 | 7,839 | 1,789,994 | 1,994,296 | 471,238 | 21,346 | 449,892 | 1,523,058 | 67,876 | 1,455,182 |
| 深日港 | 全 体 | 23 | 7,432 | 0 | - | - | - | - | - | - |
| | う ち 公 共 | 23 | 7,432 | 0 | - | - | - | - | - | - |
| 尾崎港 | 全 体 | 3,217 | 25,736 | 128 | - | - | - | 128 | - | 128 |
| | う ち 公 共 | 3,217 | 25,736 | 128 | - | - | - | 128 | - | 128 |
| 泉州港 | 全 体 | 5,993 | 1,212,990 | 1,111,098 | - | - | - | 1,111,098 | - | 1,111,098 |
| 泉佐野港 | 全 体 | 13 (0) | 5,554 (0) | 0 (0) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) |
| | う ち 公 共 | 13 (0) | 5,554 (0) | 0 (0) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) |
| 合 計 | 全 体 | 49,187 (384) | 79,311,393 (5,360,267) | 71,222,071 (9,226,470) | 28,811,533 (-) | 2,923,919 (-) | 25,887,614 (-) | 42,410,538 (9,226,470) | 17,806,274 (4,639,810) | 24,604,264 (4,586,660) |
| | う ち 公 共 | 18,307 (384) | 24,612,077 (5,360,267) | 17,627,648 (9,226,470) | 3,037,978 (-) | 1,119,621 (-) | 1,918,357 (-) | 14,589,670 (9,226,470) | 6,061,550 (4,639,810) | 8,528,120 (4,586,660) |

注:下段は内数公共。()内は、フェリーを表す。

大阪府営港湾ポートセミナー開催

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

大阪府港湾局では、大阪府港湾協会及び堺泉北港港湾振興連絡協議会・阪南港港湾振興連絡協議会とともに、大阪・宮崎において大阪府営港湾ポートセミナーを開催しました。

今回のセミナーでは、堺泉北港と内航定期航路で結ばれている宮崎から、宮崎県県土整備部及び宮崎県ポートセールス協議会の共催を得て開催し、府営港湾の知名度向上とともに、より一層の利用促進を図るため、船会社・代理店・物流関係企業・港湾運送事業者・荷主企業等、これまでで最多の295名の方にお集まりいただいた中、内航定期航路強化の取組をはじめとした府営港湾の紹介やPRを行いました。

また、セミナー後は、主催者と参加者の情報交換や商談会を兼ねた交流会を開催しました。

開催日：平成23年2月2日(水)

開催場所：ヒルトン大阪「桜園・桜山」

参加人数：295名

内容

■開会の挨拶

大阪府港湾局長 中尾 恵昭

■府営港湾のご紹介

大阪府港湾局次長 井上 博睦

■事業紹介「内航フィーダーの取組みについて」

オー・オー・シー・エル(ジャパン)(株) 欧米豪アジアトレード部長 吉田 辰生 氏

■事業紹介「宮崎県の港湾について」

宮崎県県土整備部港湾課 空港・ポートセールス対策監 永井 義治 氏

■事業紹介「堺泉北港におけるトランシップの取組みについて」

八興運輸(株) 本社事業部長 佐藤 博文 氏

主催 大阪府港湾局、大阪府港湾協会、堺泉北港港湾振興連絡協議会、阪南港港湾振興連絡協議会

共催 宮崎県県土整備部、宮崎県ポートセールス協議会

協力 堺泉北埠頭(株)



大阪府営港湾国際経済セミナー開催

大阪府港湾協会

平成23年3月18日(金)、堺国際ビジネス推進協議会との共催により、府営港湾関連企業や府営港湾進出団体の方を対象とした「国際経済セミナー2011」を開催しました。

本セミナーでは、ポストBRICsとして有望視される新興経済諸国「VISTA」の提唱者であり、テレビ、ラジオ等でもご活躍中のBRICs経済研究所代表・経済評論家の門倉貴史氏をお招きし、「中国経済の動向とVISTA諸国の台頭」をテーマに、アジア経済の現状や今後の見通しについてご講演いただきました。

東日本大震災発災後間もない中での開催となりましたが、当日は86名の方に参加いただくことができ、講演の冒頭では、このたびの震災がもたらす経済影響について述べられた後、中国経済の強みと経済的な懸念材料、VISTA諸国(ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチン)の各国について、その潜在能力や今後の可能性、リスク等についてご講演いただきました。

参加者の方々からは、端的でわかりやすく、今後の海外投資を考えるにあたり参考になった、などの御感想をいただきました。



大阪府営港湾新人研修会実施

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

府営港湾を利用されている企業や各種団体の新入職員や他地域から転入してこられた方などを対象に、府営港湾について理解を深めていただくとともに、日常の業務に役立てていただくため、今年も「大阪府営港湾新人研修会」を開催しました。

今回の研修会では、府営港湾の現況や進行中の事業をご紹介するとともに、昨今の防災意識の高まりを受け、この機会に改めて臨海部での防災対策についてご理解いただくため、「港湾・海岸部の防災対策」について、例年より内容を拡充して開催しました。

参加された方からは「府営港湾の概要について理解できた」、「今後とも、防災対策に関するテーマを毎回取り上げて欲しい」などの御意見が寄せられ、港湾事業についての理解を深めていただくことができました。

実施日：平成23年6月21日(火)

場 所：堺泉北港ポートサービスセンタービル2F きららホール

参加者：50名

主 催：堺泉北港港湾振興連絡協議会(大阪府、堺市、高石市、泉大津市)
 阪南港港湾振興連絡協議会(大阪府、岸和田市、貝塚市、忠岡町)

内 容

「港湾局事業の概要」

大阪府港湾局計画調整課計画グループ 副主査 北尾 栄治

「府営港湾のご紹介」

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ 総括主査 前田 実

「港湾の危機管理体制について」

大阪府港湾局総務企画課危機管理グループ 主査 佃 計司

「港湾・海岸の防災対策について」

大阪府港湾局総務企画課危機管理グループ 主査 原田 雄造



ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

大阪府港湾局では、府営港湾の公共埠頭に初めて入港する船舶に対し、大阪府港湾協会や地元市港湾振興会と協力して初入港の歓迎セレモニーや初入港記念楯の贈呈を行っています。

MONZA EXPRESS (20,451 総トン)

平成23年3月30日(水)

堺泉北港助松埠頭

自動車専用船



INFORMATION

●運営委員会

<平成22年度 第3回>

日時：平成23年3月23日(水) 午前10時～

場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル 2階 201・202号室

議事：(1)平成22年度事業報告について

(2)平成23年度事業について

<平成23年度 第1回>

日時：平成23年6月21日(火) 午前10時～

場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル 2階 201・202号室

議事：(1)平成22年度事業報告並びに収支決算報告

(2)平成23年度事業計画(案)並びに収支予算(案)